

番号	103	立岩谷大水害之碑		
所在地	嬉野市嬉野町不動山甲５０９　下不動地区			
災害別	昭和５１年（１９７６）台風１７号　水害			
目的別	記念碑	建立年	平成１０年９月	
特記事項				



嬉野市嬉野町下不動地区にある十一面観世音菩薩を祀ったお堂の前に建てられた碑。昭和51年9月12日から13日にかけて台風17号が佐賀県を縦断した。「佐賀県災異誌」(第3巻P34~36 佐賀県消防防災課 1985 発行)によれば、最大瞬間風速31.3mの暴風雨が佐賀県を直撃し、嬉野町では、13日午前1時から2時にかけて岩屋川内ダムで106ミリ、嬉野で65ミリの豪雨となった。このため、県南西部を中心として住家への浸水、農地の流失・埋没、地すべり、崖くずれ、道路河川の崩壊、決壊等が相次いだと記されている。

地元の方の話では、この豪雨で碑の脇を流れる小川に土石流が押し寄せ、幸い人命に被害はなかったものの、土砂や流木のため農地や家屋に大きな被害を受けたという。なお、理由は不明だが、碑はかなり後の平成10年になって建てられている。

(裏面)「記 台風十七号直撃集中豪雨となる 昭和五十一年九月十三日午前一時立岩谷川流域に大水害発生 国より激甚災害地の指定を受く 総工費 一億一千万円 工事 砂防型 水路 道路 農地の整備等 施工者 塩田町西村組 昭和五十三年四月末復旧工事竣工成る」(下段) 石工(氏名略)

(右側面)「平成十年九月十三日記念碑建立 建立発起人(氏名略)」

(左側面)「被災組合員氏名 組合員代表 (以下役職・氏名表略)」



国土地理院電子国土 Web

